

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	実 習		
科 目 名	シャシ整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	二級自動車整備科二輪自動車整備士コース		
年次学期・曜日・時限	1年前期	・ 木～金曜日	・ 1時限～8時限
時 限 数	60、8時限（期末試験を除く）		
担当教員名	松原 吉彦・川向 芳子		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、二輪自動車のシャシ関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術についての実習を実施する。		
授業の目的	二輪自動車のシャシ関連の整備等を行う上で必要となる基礎知識と技術の習得。		
テキスト	①実習テキスト ②サービスマニュアル		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	機械式ドラム・ブレーキ1	構造、構成部品の名称及び倍力作用、ブレーキの作動原理を確認する	①167 ②
第2回	機械式ドラム・ブレーキ2	車両よりブレーキを取外し分解・組立をする ブレーキ調整要領を習得する	
第3回	油圧式ディスク・ブレーキ1	構造、構成部品の名称及び動き、ブレーキの作動を単品教材にて確認	①168～169 ②
第4回	油圧式ディスク・ブレーキ2	車両よりブレーキを取外し分解・組立を行う 油圧ブレーキのエア抜き作業を習得する ブレーキフルードの取扱、性質を学習する タイヤ、ホイールの構造、呼称の確認	
第5回	タイヤ・ホイール1	ラジアルタイヤとバイアスタイヤの違いを確認する タイヤレバーを使ったタイヤ交換を習得	①159～160 163～164
第6回	タイヤ・ホイール2	タイヤチェンジャーの取扱い注意点を学習する チェンジャーを使用したタイヤ交換作業を習得する	
第7回	クラッチ1	湿式多板コイルスプリング式クラッチの構造、構成部品の名称及び動き、作動を確認する	①155～156 ②
第8回	クラッチ2	自動遠心式クラッチの構造、構成部品の名称及び動き、作動を確認する	
	ステップ試験（中間試験）	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	
	期末試験	第1回～第8回までの授業内容に関する実技試験	

到達目標	ブレーキ及びクラッチにおける基本的な部品名称の確認と分解・組立における注意点等の把握、及びタイヤ交換が出来るようになる事を目標とする。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、ステップ試験（中間試験）並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30% 期末試験の点数 40% 平常点 30%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。